
祖狼商事?と愉快的仲間達

即席兵器

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

祖狼商事？と愉快な仲間達

【Nコード】

N8882N

【作者名】

即席兵器

【あらすじ】

モンスターハンターの世界に似合わぬ妙な商会ギルド<祖狼商事？>・・・
そんなところで繰り広げられるどたばたごった煮で、モンスターも人も、さらにはアイルーも巻き込みてんやわんやでお送りする日常系へんてこストーリー！ここに見参！

皆様の感想お待ちしております。

祝PV1000突破！！

プロローグ（前書き）

そんなこんなで始まります、へんてこ商会物語。
駄文多しにつき苦手な方は今すぐ戻るボタン連打を推奨します。

プロローグ

がやがや………

ドスンッ！ゴトンッ！

「ええー、聞こえてる？ん、聞こえてるか。ならよし。」

「（社長さつさと新入社員へによ歓迎挨拶ゆつてくださいにや。）（
がやがや………

「ん？じゃあ始めるぞ。えー新入社員の皆さん、おめでとう！私が社長のカタギリノキだ。わが社に入ったからには、一に人命、二に効率、三四に z （この世界の通貨単位）、五にさぼりの精神の元で動いてもらっ」バキィ！「げはっ！」

「黙るにや、馬鹿社長。五はさぼりなんかじゃやく睡眠、あつ間違えた、休憩マタタビのがいけとにやにや。ふざけたこと言つてると蹴るにやよ？」

「（もう、蹴ってるよ。つていつたらまた蹴られるな……）はいはい。ということとで今日もきびきび働いて逝くぞー」

オオオーオ？

「漢字が物騒にや。社長が逝けにや。」

「ひどいっ！冗談なのに……」

これが、こんな妙な社長と側近のアイルー、さらにはへんてこな部下達とのおかしな日常の始まりだった。

プロローグ（後書き）

最後まで読んでくれた方に感謝です！

できれば、指摘等を感じに書いていただけるとうれしいです。
皆様方の感想がこの作品と作者の肥料になります。

簡単な社員一覧（一部）（前書き）

さあ、今日も俺の駄文が冴え渡るぜ！
すみません・・・調子のつてました。

簡単な社員一覧（一部）

主な社員及びキャラクターの説明

カタリギ^{II}ノギ

役職：本社社長兼ボケ役

あだ名：馬鹿社長 ボケノギ 社長

性別：男

種族：人間（竜人族）

属性：馬鹿？・ズボラ・役立たず？・ボケ

クロト（前話のアイルー）

役職：本社監査役第二席兼社長専門つつこみ役

あだ名：側近さん クロさん

性別：雌

種族：アイルー（赤虎）

属性：常識者・苦労者・つつこみ・いい猫

グラム^{II}カノン

役職：本社監査役長兼ゲン[○]ウもどき

あだ名：監査長 グラムさん 総督（？）

性別：雄

種族：雑種（アルバトリオン×クシャルダオラ）

属性：上司・ゲン[○]ウ・つつこみ？

サキ

役職：第三支社副社長兼現実引き戻し役

あだ名：特に無し

性別：女

種族：人間
属性：被害者・巻き込まれ

キリコ

役職：本社防衛班一般兵兼食堂のおばちゃん(?)

あだ名：食堂おばちゃん 飯屋のおばちゃん

性別：雌

種族：アイルー(蒼)

属性：常識者・職人・つつこみ?

ギイ

役職：本社遊撃班第四位兼問題児

あだ名：ギイ君

性別：雄

種族：ガブラス?

属性：ドラゴン?・癒し担当

??(名前無し)

役職：??? (特に無し、あえて言うなら居候)

あだ名：スライム(外見を見たまんま)

性別：?(スライムだから性別無し)

種族：スライム(ドラクエ型のスライムでは無い)

属性：不定形・半不死身・ズボラ・チートバグ・フリーダム

簡単な社員一覧（一部）（後書き）

現在名前まで出ることが決まっているキャラ表です。

話が進むにつれて新しいキャラの欄ができたり、項目が増えたり、
詳細化したりしますのでご期待ください。

社訓1：書類は後回しにせず、ちゃんとこなそう（前書き）

まさかのPV700突破！

感謝感激です。これからも亀更新ですがよろしくお願いします。

社訓1：書類は後回しにせず、ちゃんとこなそう

「うーん、今日の業務は、っん？視察？何だそれ？」

「……………はあ？」

「お馬鹿な社長に代わって説明いたします。わが商事には本社、支社、出張所が存在しそれぞれに基本五課（遊撃、防衛、採取、創作、指令）が存在しています。この馬鹿社長は置いといて、各場所には長があり、その長の基本業務として「視察・管理・報告」が存在します。」

かきかき…

「ふむふむ…え〜と「視察・管理・報告」？」

かきかき…

「なにメモってるんですか…基本中の基本ですよ？」

「いや、覚えてねえべ？」（馬鹿）

「意味無く方言を使わないでください……………」（怒）

「スイマセンデシタ」

バキィ！

「じゃあ、今覚えてください……………」

「サー！イエス、マム！」（敬礼）

かくかくしかじか……………

説明中・・・・・・・・

「とにかく、最低限の仕事なのでこなしてください。」

「サー！」

「馬鹿社長は馬鹿社長なりに仕事をしてくれれば文句はいいませんので・・・・」

「ワカリマシタ、チャントシゴトシマス」

「解ればよし！」

所変わって・・・・・・・・本社・遊撃班

「ギイ〜君！」

たたた・・・・

「ぴい？」

「探したよ、ギイ君。仕事終わったの？ってか終わったよね？終わってるよね？」

「ぴゅい〜（一応、終わりましたよ？）」

「じゃあ、こつちを手伝え、てか、手伝ってください・・・・」

「ぴゅぴゅい？（いいけど、どうしたんですか？隊長さんがそんな弱音吐くだなんて）」

「それが・・・・」

回想開始……

隊長さんはここに来る少し前、執務室でいつもどおり真面目に書類業務に励んでいた……

「にしても、あの馬鹿社長のせいかなのか？やたらと書類の量が増えた気がするんだが？」

コンコン……

「入れ〜」

ガチャ……バサアアアア……

「あ、ああああ！？なんだその書類の量は！なんなんだ拷問か？拷問なのか！？」

「すい……ませ……ん……」

「つて、おい、大丈夫お前！おい、おい！？」

「た、隊長、……俺の仇（書類）をとってくだ……さい……」
がくつ

シーン……

「ちょ！おい救護班！早く、来て早く！」

にやにやにやー！（ネコタク）

「……書類が……多すぎる……なんでこんなことに……書類運搬で怪我人が出るなんて聞いたこと無いぞ……おいおい」

「……書類の束は以前として部屋のスペースを蝕んだまま、歩くスペースすら減っているのが現状という最悪な状態の中、隊長さんは吼えた

「こんな量の書類処理とか……一人じゃ無理だーああー」

あーあー（エコー）

そして現在に至る……と

「ぴ……(……うわ)」

「ぐすっ、いじめか？拷問か？ひどすぎる……OTZ」

「ぴゅぴゅー！(うん……って手伝うよ……)」

「ありがとう……ぐすっ」

所変わって監査役円卓会議室……

「……ねえ、なんでこうなったんでしょう？」

「知りません……」

そこには一匹のアイルーと馬鹿がはんば強制的に召喚され座らされていた……

「あの～すみません。グラム総帥、質問いいですか……？」

……

「あの～……？」

「どうぞ」

「あ、っはい。えーと、なんで僕は拘束されてるんですか？」

「……仕事しないからでしょ？」

「いや、クロトには聞いてないからっ」「正解です」「って、ええ？」

総帥こと、グラム＝カノンはこう言い切った……

「仕事できてないよ、君。」

「すみません……」

「まあ、それが理由では無いんだけどね」

「あ、っそうですか。では何ゆえに？」

「うん、そうだね。毎年やっている、全支社合同総合演習が今年も例年どおりあるのは知ってるよね？」

「あ、はい・・・かろうじでおぼろげにですけども」

「それで今回の演習のテーマを事前にして発表しおこうと思っ

」

「そうですか。では、今年のテーマは何なんですか？」

「今年のテーマは・・・」「自給自足」だ！」

「「はあ？」」

「班単位、部隊単位で自給自足で一週間、「頑張って生き残る」って形式だ」

「よく解りませんが」

「まあ、詳細は直前に伝えるさ。それまで頑張って仕事してなさい」

「なんてアバウト」君には言われたくないな」スイマセンデシタ・

」

「じゃあ、そついで」

・・・

「そつえば視察は？馬鹿社長？」

「馬鹿って言うな、って忘れてた・・・」

そのころの遊撃隊長とギイ君・・・

「うわ〜！終わりが見えねえ！」

「びっぴい！びっぴい！（判子、選別、投函！判子、選別、投函！）

」

しばらく時間が過ぎ・・・

こんこん・・・がちや

「おゝいつて!?!」

「馬鹿社長逃がすか!?!」

「うおわっ!?!」

「ぴ〜!(手伝え〜!)」

「ちょ、馬鹿じゃ・・・ねえ・・・待って・・・」

結局、お馬鹿な社長は隊長さん&ギイ君に捕まり書類業務を延々とやらされましたとさ・・・

今回の教訓：

書類は来たらすぐこなせ!

意味：

後回しにしてもいつかは増えて自分の手元に戻ってくるので、後回しにせず自分でちゃんとケリを付けましょう(笑)

社訓1：書類は後回しにせず、ちゃんとこなそう（後書き）

そういえば、「ギイ君」がフォックさん作の「俺のペットはモンス
ター！？」非日常の俺の育成日記」にコラボ出演させていただき
ました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8882n/>

祖狼商事?と愉快的仲間達

2011年10月7日20時50分発行